

こども食堂がつなぐ学大の輪

株式会社バレッグスが運営する『この街の食堂』にて、2025年6月～地域の子どもたちと住民に向けた「こども食堂」をスタートさせ、同年7月～は毎週土曜日開催中！『温かい手料理で、ほっとするひととき』との思いから、この街の食堂という場を地域住民や子どもたちとの交流拠点として取り組んでいます。そのあたたかい取り組みは、食堂の中だけに留まらず、まちの歯医者さんや、パン屋さんなど、少しずつホットな連鎖が…。今回はそんな「こども食堂」の活動や、学大に広がるホットな輪をご紹介します！

温かい手料理で、 ほっとするひとときを

これまで、福祉活動や日本語指導など、伝えることや触れ合う活動をメインに、様々なボランティア経験を積んできました。「こども食堂」では、来場者への手洗いのお願い、料理の提供、また自宅で余った本やお菓子などの寄付も行っています。子どもたちやスタッフが喜んでくれれば！という想いから、私自身も楽しみながら行っています。

丁寧に作られた、安心安全なこだわり 自家製パンをご提供しています



天然酵母や国産小麦、発酵バターなどの安心安全な素材で丁寧に作られた、自家製パンを毎週ご提供しています。素材の甘さを活かして作られたパンや、昔ながらのシンプルなパンも多く、子ども等にも大好評◎



しいの実社 学芸大学店
目黒区鷹番2-4-9
☎ 03-5724-3553
🕒 11:00～19:00
📅 土・日・祝

しいの実社は、目黒区内で知的障害者の地域での活動・就労・生活などの総合的な支援を行う社会福祉法人。知的障害者を持った社員の方々がパンの製造や販売を行うほか、お店の2階や目黒本町にある拠点等で、クラフト製品や織物製品などの制作もしています。バレッグスとは「こども食堂」がスタートする前から、余ったパンを差し入れたり、まちの中での交流があったのだそう。そういった活動を通して、働く社員のみならずと地域の方々の間で自然と挨拶が生まれるなど、あたたかい輪が広がっているそうです。



なつさん



こども店長



小平真理さん・華実さん
(施設長)



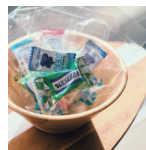
寺師先生

大活躍！こども店長！

何度も通っているうちに、自然と「こども店長」のような存在に！主な活動内容は、お客さまの呼び込み、黒板を書くこと、みんなと遊ぶこと、そして料理（卵を割るなど）です。楽しい場所であり、友達もたくさんできました◎

子どもたちの歯のために、 キシリトールキャンディーを提供しています

この街の食堂がオープンした際にバレッグスさんがご挨拶に来てくださり、初めて「こども食堂」の存在を知りました。ぜひなかご協力できればと思い、ごはんを食べ終わった後のおやつ代わりにキシリトールキャンディーをご提供しています。



五本木が地元という院長の寺師先生。「開業は地元の学芸大学で」との思いで2024年12月に玄和堂歯科診療所をオープン。子どもの頃からボラボラや恭文堂書店を利用していたという寺師先生は今も休日問わず学大で日々を過ごしており、地元の皆さんが集うローカル店「養老乃瀧」へよく飲みに行くそう。学大の飲食店で出会った方が患者さんとして来られることもしばしば。驚くべきは院内に置かれた学大の様々なお店のショップカード！まちのホットなつながりを感じます。



玄和堂歯科診療所
目黒区鷹番2-16-18
ASA X学芸大学ビル303号室
☎ 03-6452-3882
🕒 9:30～13:00/14:30～18:30
📅 火・木・金

活動の発信やボランティアにご協力いただける
企業さま・店舗さま募集中！



子どもたちのために、これからも「この輪を広げたい」

「この街の食堂」の企画・運営を担当する提坂さん(株式会社バレッグス/新規事業開発室 室長)。「常連の方も多く、平均して定員である50人程度が毎週来店してくださっており、その反響は「想像以上」だといいます。それには意欲的な料理長の協力のおかげもあって、週替わりのバリエーション豊かなメニューは子どもたちを楽しませる一つのポイントだそう◎

📍 konomachino_kodomoshokudo / ☎ 03-3794-1156 / ✉ bizdev@balleeggs.co.jp